

平成16年度第1回大台ヶ原ニホンジカ保護管理検討会意見対応表

	項 目	意 見	対 応
(1)	生息密度の標記について	小数点2桁は必要ない	小数点1桁にする
(2)	緊急対策地区の区分について	ミヤコザサの有無で緊急対策地区のゾーニングを見直すことも必要	生息密度のデータをさらに蓄積したうえで、見直しについて検討する
(3)	高密度地点 (No. 7, 12, 13) の再調査について	糞虫のいない時期に再調査すべき	11月に再調査を実施
(4)	シカの行動変化について	防鹿柵の影響をみるべき	来年度行動域調査を実施
(5)	防鹿柵・ラス巻きの設置場所等について	今後の防鹿柵・ラス巻きの設置場所等の計画は検討会で論議すべき	これまでの調査結果等も整理したうえで、検討会のご意見を聞く
(6)	捕獲効率の標記について	一定の捕獲道具・努力量でどれだけ捕れたたかわかるように標記すべき	ご意見の通り修正
(7)	捕獲方法について	新しくシカ捕獲用に柵を設置すべき	来年度設置する方向で検討する
(8)	周辺地域の状況について	奈良県および三重県の捕獲状況などを確認すべき	各県より情報提供していただき資料2(p4-9)にまとめた